

山田学区

社協だより

第 65 号

発行学
山田学区
社会福祉協議会

敬老会



去る九月十五日、敬老の日に草津市立武道館におきまして敬老会を開催いたし

ました。学区内にお住いの七十歳以上のお年寄り三九九名の方が出席いただき、元気な姿を

見せていただきました

ました。

祝賀式は、

草津市長様はじめ、多数の

御来賓ご臨席

のうえ、お祝

いの言葉をい

ただき、とても盛大に行われ

ました。

お昼にはみんなで祝いの

弁当を召し上がっていた

だきながら語らい旧交を温

めていただきました。

午後のア

トラクショ

ンには、

山田幼稚園

児のかわい

い演技に目

を細めて見

入るととも

に、声援を

送りまし

た。また学

区内の演芸

サークルの

皆さんの鍛

えた腕前に



感嘆したり、今

年初めて、出席

者も一緒に参加

していただけ

らとの思いか

ら、出演者と一

緒に歌ったりし

て楽しい時間を

過ごしました。

去年は台風のため、急

き中止となりましたが、

一年ぶりの敬老会でしたが、

皆さん来年の再会を約束し

ていただきました。

こうした敬老会も長い歴

史があり、住民の皆さんか

らの信頼と、学区内各種団

体の皆さんからのご協力の

上になりました。ますますこ

に、心からお礼を申し上げます。

ます。



平和祈念戦没者追悼式

今年も、六月第三土曜日の二十一日、平和祈念戦没者追悼式を挙行いたしました。山田学区には先の戦争で亡くなられた一六七柱、一五一遺族の方がおられま



す。このうち、四十六遺族が出席していただきました。私たちが、今日の平和と繁栄を当然のこととして、そのなかで生活できますことは、祖国のために命を捧げられたかたがたの尊い犠牲と、ご遺族をはじめ、諸先輩皆様のご尽力の礎のもとにある



戦後すでに七〇年近くの年月が過ぎ、戦争を知らないわたたくしたち世代がはるかに多くなりました。このため、来年度からは、この平和祈念戦没者追悼式は、市で統一的に実施され、学区で行う式典は、これが最終となりま

した。ことを忘れてはなりません。命の尊さを学ぶこと、平和を守る大切さをかみしめること、また合わせて、自然の力の脅威や偉大さを知り、そして、これらを子供や孫たちにつかりと伝えることが、年一回のことではありますが、今日この「平和祈念戦没者追悼の日」に課せられた、おおきな役割であると思います。

今年の人権研修は、十一月二十六日、三重県人権センターへ行きました。人権研修は、社協の役員はもちろん、学区内皆が、研鑽をはかり、自分自身のスキルアップし、もって差別に無い住みよい地域を作るため、またそのためのリーダーとなっていただくため

人権研修



今年の人権研修は、十一月二十六日、三重県人権センターへ行きました。人権

研修は、社協の役員はもちろん、学区内皆が、研鑽をはかり、自分自身のスキルアップし、もって差別に無い住みよい地域を作るため、またそのためのリーダーとなっていただくため

に実施している活動です。祝い事のように良い出来事は「晴れ」、平凡な日常を「気」といい、突然におこる不幸な事、例えば病気になる、けがをする、災害に遭うなどは「気が枯れる」ことで、「気枯れ」といいます。これがなまって「ケガレ」となったそうです。

す。これは平安時代の終わりころのことです。そして鎌倉時代の初めになりますと、「ケガレ」は目に見えない悪霊・怨霊のしわざで、近づいたり触れたりすると、悪霊が移って不幸になると考えられました。

そこで、この悪霊・怨霊を取り除く、追い払う（お祓い）ことが必要となり、こ



れが「キヨメ」です。そして誰もが嫌がるキヨメをやらされた人が必要として作られました。キヨメをする人には、悪霊が取りついていて、その人に近づくと悪霊が移るすなわち「ケガレる」といつて恐れ差別していきました。

と言うように、「謂われなき差別は、どのようにつくられたか」と言うことを改めて学びました。このように歴史的に鮮やかに説明

を受けますとまた「目からウロコが落ちた」感じがありました。なお、この研修は

第二次山田学区 住民福祉活動計画

山田学区同和推進協議会との共催で実施しています。

前回の社協だよりでお知らせいたしました、地域福祉活動推進活動の総合的な推進のための重点対象学区の指

ことはジャストのタイミングでありました。活動計画策定委員会を設

定を受け、この活動の一環として、「第二次山田学区住民福祉活動計画」の策定を進めて参りました。

第一次山田学区住民福祉活動計画は平成二十三年度から二十六年度までの計画でしたから、その続きとして本年度に第二次計画を策定する



けまして、審議いただき、第一次計画と同様「ひろがれやまだの和・環・話。ひとと人のつながりを求めて」のキャッチフレーズのもと、「自分たちで何ができるか、「背伸びをしない身の丈に合った」計画をとの考えでまとめてまいりました。

計画策定にあたっては、一次計画の進捗状況と評価を行い、地域の福祉活動の状況や普段の思いを知るため、福祉懇談会を実施いたしました。

また、学区内の各種団体との話し合い結果や、世の中の動きも見極めが必要ですので、行政や市社協からも情報を仕入れました。

その上でこれらをまとめて、「子育て、地域の絆、高齢者、災害に備える、広報」の五項目を柱としました。また、具体的な活動と



して、認知症ケアパスの作成、福祉防災マップの作成を計画しました。

社協活動の新しい「道しるべ」ができたかなと感じております。詳しくは次号でお知らせいたします。



一人暮らし高齢者 バス旅行

ここ数年、毎年同じ場所ですが、休暇村近江八幡へ行ってまいりました。この旅行は、お一人暮らしの方が「一人ぼっちにならない

ように、友達を作っていただけるといいですね」ということで、実施しているものです。

例年、大変ご好評をいただいております。バスの定員いっぱいであり、楽しい食事をして、語り合

い、また風呂にはいつたりしまして、このときばかりは時間がゆつたりと流れるように感じます。



ふれあいサロン

もう一つ、「一人ぼっちにならないように、友達を作りましょう」との趣旨で行っている活動が「ふれあいサロン」です。

今年も、二月二十五日、

賛助会員紹介

今年も草津市社会福祉協議会賛助会員の募集をさせていただきました。山田学区では二十九社の皆様からご協力をいただきました。この会費は草津市社会福祉協議会の活動に有効に活用させていただきます。

ここに山田学区の賛助会員の皆さんを紹介させていただきます。

(敬称略・順不同)

- ・ 株アヤシロ
- ・ 株ナカイテクノ
- ・ (有)横江製作所
- ・ 相撲ちゃんこ大岳
- ・ 株光真製作所
- ・ 株中嶋歯車工業所
- ・ 藤田工務店株
- ・ 福盛教材

なごみの郷に集まりまして、ボランティアグループ「NSファミリー」のリードのもと、みんなで楽しく懐メロを歌ったり、市の高齢者いきがいに課からの出前講座、「草津菌・口からこんにち

は体操」を行いました。

浜口自転車店

オートカム

中野製薬製造株

株久泉エンジニアリング

(有)馬場自動車

(有)馬場工務店

堀井歯科医院

株テクノオーミ

膳所木材工業株

山一産業株

久保水道

西本電気工事株

久保産業株

(有)馬場建設

(有)久保電気

平井自動車工業株

佐山水道工業株

中川商店

すずか亭

TENSEISHINKAI

岡田茂吉研究所

木川営農組合

編集後記

もうすぐ彼岸です。暑さ寒さも彼岸までと言われまして、春が待ち遠しいですね。でも正直、三月は年度の後始末と新年度の準備と忙しい日が続きます。

なお、新年度の社協総会は、去年同様に体育振興会、青少年健全育成会議、山田学区同和推進協議会と同日開催とさせていただきます。予定としています。

